

## 平成26年度事業報告書

平成26年度は、アベノミクスによる円安・株高に伴い輸出型産業や大企業を中心に経営環境が好転したものの、内需型産業や中小企業まではその効果が波及せず、産業廃棄物処理業界を取り巻く経済情勢は依然厳しいものであった。

そうした中で東京都産業廃棄物協会は、会員各社と事務局協力の下、異物混入による事故の防止、再生砕石の利用促進、建設混合廃棄物等の適正処理に対する排出事業者の理解促進、委員会活動の一層の充実など活発に行動し、次のような事業を行った。

### 1. 適正処理推進事業（公益的事業）

#### (1) 調査研究事業

##### 1) 調査研究

法制度の改正や首都直下などの巨大地震による災害廃棄物対策の動向等について情報収集を行うとともに、異物混入による事故の防止など会員が直面する課題の解決や関係機関に必要な提案を行っていくため、調査研究を行い、要望等を実施した。

##### 2) 普及啓発

調査研究等により得た結果や情報等については、機関誌「とうきょうさんばい」やホームページ、各種研修会、相談業務を通して会員に提供した。

#### (2) 研修事業

##### 1) 一般研修事業

適正処理とリサイクルを広く推し進めていくため、各種研修会、講習会を実施した。また、昨年度に引き続き、東京都から「健全な静脈ビジネスの発展に向けた講習会」事業を受託実施した。

#### ① 建設廃棄物・三者施設見学研修会 見学会：33名 勉強会：37名

対象者：東京都環境局資源循環推進部

(一社)東京建設業協会 (一社)東京建物解体協会

(一社)東京都産業廃棄物協会 建設廃棄物委員会

期日：平成26年10月30日

内容：タイルカーペット再資源化処理施設見学

勉強会『東京都における産業廃棄物に関する指摘・指導事項について ～建設廃棄物を中心に～』

見学先施設 : リファインバース(株) 千葉工場 (千葉県八千代市)  
勉強会講師 : 東京都環境局資源循環推進部  
〃 場所 : (一社)東京建設業協会 会議室 (中央区)

② 健全な静脈ビジネスの発展に向けた講習会 [東京都受託事業] 389名

対象者 : 東京都知事の許可を受けている全処理業者 (12,918社)

ア 適正処理の基礎知識及び実務に関する講習会

期 日 : 第1回 平成27年 1月13日 52名

講 師 : (公財)東京都環境公社

場 所 : 大田区産業プラザPiO (大田区)

期 日 : 第2回 平成27年 1月27日 55名

講 師 : (公財)東京都環境公社

場 所 : 立川トヨタドライビングスクール東京 (立川市)

期 日 : 第3回 平成27年 2月 3日 48名

講 師 : (株)五十嵐商会

場 所 : 江戸川区総合文化センター (江戸川区)

期 日 : 第4回 平成27年 2月10日 48名

講 師 : (株)五十嵐商会

場 所 : 立川トヨタドライビングスクール東京 (立川市)

期 日 : 第5回 平成27年 2月24日 42名

講 師 : (株)五十嵐商会

場 所 : フォーラムミカサ エコ (千代田区)

期 日 : 第6回 平成27年 2月27日 45名

講 師 : (公財)東京都環境公社

場 所 : フォーラムミカサ エコ (千代田区)

イ 静脈産業をめぐる最新状況に関する講習会

期 日 : 平成27年 3月10日 99名

テーマ : 循環型社会における事業戦略のあり方

講 師 : (一社)東京都産業廃棄物協会

(株)スーパー・フェイズ

(株)高橋産商

北星鉛筆(株)

(公財)東京都中小企業振興公社

(公財)東京都環境公社

場 所 : 砂防会館「シェーンバッハ・サボー」(千代田区)

③ 産業廃棄物処理実務者研修会 基礎コース 164名

〔実施機関：(公社)全国産業廃棄物連合会 当協会実施協力〕

対象者：排出事業者・処理業者における実務担当者等

期日：平成26年11月18日

講師：(公社)全国産業廃棄物連合会

場所：ベルサール西新宿(新宿区)

2) 講習会事業(許可申請に関する講習会)

東京都内で実施される許可申請に関する収集・運搬、処分課程及び特別管理産業廃棄物管理責任者の講習会を、実施機関である(公財)日本産業廃棄物処理振興センターに協力して実施した。

① 新規許可申請講習会 1,070名

ア 産業廃棄物の収集・運搬課程

期日	： 第1回	平成26年	5月15日～16日	161名
	第2回	26年	6月5日～6日	170名
	第3回	26年	9月18日～19日	165名
	第4回	26年	11月27日～28日	157名
	第5回	27年	1月15日～16日	159名
	第6回	27年	3月5日～6日	158名 (970名)

場所：ベルサール西新宿(新宿区)

イ 特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

期日：第1回 平成26年10月8日～10日 100名

場所：ベルサール西新宿(新宿区)

② 更新許可申請講習会 1,176名

ア 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

期日	： 第1回	平成26年	5月8日	169名
	第2回	26年	5月14日	163名
	第3回	26年	7月23日	170名
	第4回	26年	9月25日	167名
	第5回	26年	11月7日	166名
	第6回	27年	1月9日	172名
	第7回	27年	3月20日	169名

場所：ベルサール西新宿(新宿区)

③ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会 2, 564名

期日	：	第1回	平成26年 5月 9日	172名
		第2回	26年 6月12日	166名
		第3回	26年 6月13日	168名
		第4回	26年 7月24日	168名
		第5回	26年 9月17日	164名
		第6回	26年 9月26日	166名
		第7回	26年10月22日	163名
		第8回	26年10月23日	165名
		第9回	26年11月 6日	150名
		第10回	26年12月 9日	169名
		第11回	26年12月10日	142名
		第12回	27年 1月 8日	163名
		第13回	27年 2月19日	134名
		第14回	27年 2月20日	155名
		第15回	27年 3月12日	150名
		第16回	27年 3月13日	169名

場所：ベルサール西新宿（新宿区）

④ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会（医療関係機関等対象） 297名

期日	：	第1回	平成26年10月17日	173名
		第2回	27年 2月 5日	124名

場所：第1回 日本医師会館（文京区）  
第2回 ベルサール西新宿（新宿区）

⑤ PCB廃棄物の収集運搬作業従事者講習会 154名

期日	：	第1回	平成26年10月17日
場所	：	ベルサール西新宿（新宿区）	

(3) 相談指導事業

平成14年度から専任相談員を配置して相談指導事業を行っている。26年度の相談件数は、2,715件で、前年度に比較して297件増加した。

## 平成26年度の相談実績

I 照会・相談・質問 区分内訳			(2,715件の内訳)		II 照会・相談・質問者 内訳		III 照会・相談・質問 内容内訳	
電話	処理先照会	1,940	排出事業者	1,630	会員紹介	1,963		
	相談事項	90	処理業者	449	法令照会	240		
	質問事項	631	建設業関係	261	処理方法	79		
面接 WEB	相談・質問	54	行政機関	68	契約書・管理票	284		
			コンサル	36	リサイクル関連	2		
計		2,715	医療機関	63	建設廃棄物	1		
			一般都民	208	許可関係	96		
					その他	50		

## 2. 環境対策事業（公益的事業）

### (1) 環境活動

4月19日～20日に開催された「アースデイ東京2014」に青年部が参加し、ごみゼロステーションを運営する形で環境活動を展開した。

また、女性部を中心として「ベルマーク回収による東日本大震災被災校への支援活動」を行った。

### (2) 環境対策事業

該当事業なし。

### (3) 災害廃棄物対策事業

平成25年10月に発生した伊豆大島の災害廃棄物の処理に対する協力を行った。

## 3. 普及事業（その他事業）

### (1) 普及事業

#### 1) 普及・広報活動

協会の社会的意義や取り組み状況などを、機関誌「とうきょうさんばい」をはじめ、ホームページ等で紹介し、広報に努めた。

また、安全に関するポスターを全会員に2回配布し、普及啓発に努めた。

2) 協会発行図書等の有償頒布

主な有償頒布図書

マニフェストシステムがよくわかる本	449部
建設廃棄物処理委託契約書	1,213部
建設廃棄物処理委託契約書及び記入例	116部

車両表示板作製あっせん受注実績

	*会社数	受注枚数
マグネット(着脱)式	28社	79組
シート(固定)式	12社	57組
合計	40社	136組

\*会社数は、複数の形式を受注したものを整理した純数

3) 産業廃棄物管理票(マニフェスト)普及事業

廃棄物処理法で義務づけられている、産業廃棄物管理票(マニフェスト)について、(公社)全国産業廃棄物連合会及び建設六団体副産物対策協議会から受託し販売した。

また、電子マニフェストシステムについては、協会を通じての加入受付を行うとともに、電子マニフェストの運用を円滑に行うための「電子マニフェスト用産業廃棄物送り状(受渡確認票)」〔連合会発行〕の販売を行った。

産業廃棄物管理票普及実績

種類		単票	連続票	計
産業廃棄物	直行用	250,600セット	224,000セット	474,600セット
	積替用	32,700セット	79,500セット	112,200セット
建設系廃棄物		475,100セット	403,000セット	878,100セット
合計				1,464,900セット

電子マニフェスト用産業廃棄物送り状頒布実績

電子マニフェスト用産業廃棄物送り状(受渡確認票)	6,110セット
--------------------------	----------

(2) 機関誌の発行事業

会員に対する基本的な情報伝達手段である、機関誌「とうきょうさんばい」は第284号から295号まで計12号を発行した。

内容は、協会、(公社)全国産業廃棄物連合会、環境省、東京都の動向等を中心に

確実性と速報性に富んだものとして誌面の充実を図った。

#### 〈主な記事〉

- ① 東京都受託事業（産業廃棄物処理業者向け講習会）  
静脈産業をめぐる最新状況に関する講習会  
『事業戦略としての設備投資』をテーマに開催
- ② [青年部だより]  
『アースデイTOKYO 2014』に参加  
今年もごみゼロステーションを運営
- ③ [第2回定時総会・法人化30周年記念式典]  
会長3選など新役員選出  
法人化30周年記念講演会・懇親会を盛大に開催
- ④ [多摩支部だより]  
多摩環境事務所より5氏を招き研修会を開催
- ⑤ 新入会員と協会役員との懇談会を開催
- ⑥ [女性部だより]  
「小学生向け体験型工場見学会」を開催
- ⑦ [医療廃棄物委員会]  
東京・神奈川・静岡が初の合同懇談会を開催  
感染性廃棄物に関する情報交換会等で協力を
- ⑧ [建設廃棄物委員会]  
東京建設業協会・東京建物解体協会との合同施設見学会で  
工場見学と勉強会を開催
- ⑨ [法制度検討委員会]  
集中会議で第二期検討テーマの整理・確認と第三期テーマについて討議
- ⑩ [回顧と展望]  
「山積する諸課題への挑戦」 専務理事
- ⑪ 新春講演会・賀詞交歓会ともに昨年を上回る盛況
- ⑫ [安全衛生研修会]  
「ヒューマンエラーとその防止対策」

### (3) 会 員 事 業

#### 1) 会員研修事業

会員企業における、経営基盤の安定、法令の習熟、廃棄物処理知識の充実、資質の向上を図るため、経営者レベル、実務者レベルなど各職層に合わせた研修会、講習会を実施した。

- ① 安全衛生研修会 [会員対象]

172名

**ア 第1回安全衛生研修会**

期 日 : 平成26年 6月25日 47名  
内 容 : ドライブレコーダー映像を活用した交通事故防止セミナー  
講 師 : 東京海上日動リスクコンサルティング(株)  
場 所 : 東京海上日動ビル本館 (千代田区)

**イ 第2回安全衛生研修会**

期 日 : 平成26年10月16日 63名  
内 容 : 産業廃棄物処理業における労働災害防止対策について  
講 師 : 東京労働局  
場 所 : エッサム神田ホール (千代田区)

**ウ 第3回安全衛生研修会**

期 日 : 平成27年 2月20日 62名  
内 容 : 産業廃棄物処理業における労働災害防止対策について  
講 師 : 中央労働災害防止協会  
場 所 : フォーラムミカサ エコ (千代田区)

**② 医療廃棄物勉強会** [感染性廃棄物許可取得会員対象] 25名

期 日 : 平成26年11月 4日  
内 容 : 医療廃棄物処理に係る行政情報及び最近の行政指導の事例等について  
有価物の取扱いについてとこれにおけるマニフェスト記載方法についての情報交換会  
講 師 : 東京都環境局資源循環推進部  
場 所 : 協会会議室 (千代田区)

**③ 国内処理施設見学研修会** [会員対象] 25名

期 日 : 平成26年10月24日 ~ 25日  
訪問先 : 加山興業(株) 豊川営業所 中間処理施設 見学 (愛知県豊川市)  
等 国立大学法人豊橋技術科学大学 豊川バイオマスパーク 見学  
(愛知県豊橋市)

**2) 会員交流・増強事業**

① 会員の連携強化と協会の活性化を図るため、総会後の懇親会、賀詞交歓会等の交流事業を行った。また、部門別においても、多摩支部、青年部、女性部の諸活動を積極的に行った。

② 会員数の維持・増加を図るため、許可申請に関する講習会、東京都受託事業



等において、協会案内を配布し入会を呼びかけるなど、あらゆる機会を活用して会員数の拡大に努めた。

また、新入会員から協会への要望等を聞くため、意見交換会を2回開催した。

### 会員数の推移

	正会員	賛助会員	計
平成25年度末会員数	575	60	635
平成26年度入会者数	5	6	11
〃 退会者数	13	3	16
平成26年度末会員数	567	63	630

③ 関係団体との協力では、(公社)全国産業廃棄物連合会、関東地域協議会の諸活動に参画し、積極的に情報交換等を行った。また、排出事業者等の諸団体と適正処理の推進と業界発展に向け、協力・交流を継続した。

### 3) 顕彰・表彰事業

26年度は、『優良事業所表彰』3社、『功労者表彰』3名、『優良従事者表彰』30名、『安全衛生推進委員長賞表彰』4名を表彰した。

## 4. 管理運営

### (1) 総会 (1回)

第2回定時総会 期 日 : 平成26年 5月23日  
場 所 : 青山ダイヤモンドホール (港区)  
議 案 : ①平成25年度事業報告の件  
②平成25年度決算報告承認の件  
③理事・監事選任の件  
出席者 : 417名 (内委任状297名)

### (2) 理事会 (9回)

第1回理事会 期 日 : 平成26年 4月 9日  
第2回理事会 期 日 : 平成26年 5月14日  
第3回理事会 期 日 : 平成26年 6月11日  
第4回理事会 期 日 : 平成26年 7月 9日  
第5回理事会 期 日 : 平成26年 9月10日  
第6回理事会 期 日 : 平成26年11月12日  
第7回理事会 期 日 : 平成26年12月10日

第8回理事会 期 日 : 平成27年 1月14日  
第9回理事会 期 日 : 平成27年 3月11日

### (3) 常任理事会 (14回)

平成26年	4月9日	平成26年	4月22日	平成26年	5月14日
平成26年	6月11日	平成26年	7月9日	平成26年	7月22日
平成26年	9月10日	平成26年	10月28日	平成26年	11月12日
平成26年	11月25日	平成26年	12月10日	平成27年	1月14日
平成27年	3月11日	平成27年	3月24日		

## 5. 委員会活動

### (1) 総務委員会

事業計画や執行に関する基本的事項、協会の財政基盤強化など横断的事項について協議し、調整を行った。

分科会として法制度検討委員会は、第3期テーマの選定を含め、合宿方式による集中検討など熱心に活動を進め、その成果の一部は東京都への要望などに活かされた。また、災害廃棄物検討委員会の設置に向けて準備を進めた。

### (2) 広報委員会

協会活動、業界情報、法規制動向等について機関誌「とうきょうさんばい」及び協会ホームページを用いて伝達した。

- ・委員会、部会の活動については、その活動の詳細を取材または当該委員からの報告により伝達した。
- ・情報に対して会員からの意見を求めたが、残念ながら無かった。
- ・「30年史」を編纂し、会員はじめ関係各位に配布した。
- ・費用対効果を常時検証し、委員会としてできることを起案した。

### (3) 中間処理委員会

平成25年11月に千葉県で発生したE社の爆発火災事故に代表されるように、「異物混入防止」は我々の業界に共通した極めて重大な課題である。そのため当委員会では、収集運搬委員会との2回の合同委員会を含めた4回の中間処理委員会を開催するとともに、破碎・圧縮分科会及び中和・脱水分科会、焼却分科会においても計6回の会議を開催し「異物混入防止」に重点をおいた討議を重ねた。

具体的な討議内容としては、当協会で作成している異物混入防止リーフレット

の一層の充実を図るため、処分方法・施設ごとの詳細なリーフレットを作成するとともに、排出事業者の協力を得るためリーフレットに排出事業者責任を盛り込むことを決定し、平成27年度初旬に完成させることとした。

#### (4) 安全衛生推進委員会

7回の委員会と3回の研修会を行った。第1回研修会はドライブレコーダーを活用した交通事故防止セミナーを行い、第2回は東京労働局の講師による安全衛生法の改正、実際発生した事故事例、ヒヤリハット事例に見る原因と対策について研修を行った。第3回は労働安全コンサルタントによるヒューマンエラーの防止策、リスクアセスメントなどについて研修を行い、第2回に定員を上回る申し込みがあったため定員を増やしたが、オーバーとなった。また、安全週間や年初には安全衛生推進ポスターを会員各社に配給し、安全衛生の啓発に努めた。

新しい「顕彰及び表彰規程」並びに「顕彰及び表彰規程運用規則（安全衛生表彰）」の運用により、安全衛生表彰が始まり、5月の総会において安全衛生推進委員長賞4名を表彰した。

#### (5) 医療廃棄物委員会

医療廃棄物の安心安全、適正処理については、処理業者・排出事業者・監督官庁が連携して知恵を出し合い、水平展開して行かなければ徹底が難しい状況にある。そこで、近隣の処理業者が普段どのような工夫をして安心・安全・適正処理に努めているのか情報交換をするため、9月に初めての試みとして、東京・神奈川・静岡の一都二県の協会で合同懇談会を開催した。

二県ではパンフレットを作成し排出事業者に配布する、排出事業者（病院・クリニック等）を交えて講習会を開催する、組合化によりまとまって行政との連携を図るなど、いろいろな取り組みをしていることが分かった。東京も早速参考にパンフレットを作成していくこととした。

また、11月、産業廃棄物対策課から講師を招き勉強会を開催した。その中で行政担当者とのディスカッションは、直接行政の意向が把握できて有意義であった。今後も工夫してレベルアップをしていく。

#### (6) 収集運搬委員会

中間処理委員会との合同の委員会も含め委員会を5回開催した。

主な活動としては、中間処理委員会と合同で活動している廃棄物の異物混入防止対策について、多くの時間を費やしたことが挙げられる。6月には、環境局との意見交換会を両委員の代表者で行い、当協会異物混入のアンケート結果等を踏まえ、排出事業者への啓発活動のあり方を中心に懇談した。東京都との懇談を踏まえ、その後も引き続き、異物混入防止対策を重点的に、中間処理委

員会と連携しながら討議を進めてきた。

その他の活動としては、法制度検討委員会へ討議テーマとしてお願いしている「再委託基準の緩和」について意見交換を重ねた。また、特別区災害ごみ等処理対策検討委員会の検討課題等についても情報共有に努めるとともに、高速道路通行料の費用削減、防犯対策について、専門取扱業者から情報収集を行った。

当業界全体に関わる課題については、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた経済動向を注視していくことを確認するとともに、物流量の増加に伴い運転手確保が非常に難しい状況が続いている中、確保策のあり方について有意義な意見交換を行った。

## (7) 建設廃棄物委員会

4月、(一社)東京建設業協会及び(一社)東京建物解体協会と「再生砕石の利用拡大」「異物混入」等について、初の試みとして意見交換会を開催した。

7月、(公社)神奈川県産業廃棄物協会・建設廃棄物特別委員会と建設連絡会(ゼネコン)合同の情報交換会に参加し、「リサイクル材の需要逼迫」「最終処分場の逼迫」などについて意見交換した。

8月、委員会を開催し、建設混合廃棄物に係る現状、課題について専門的に情報収集、意見交換するため、建設混合廃棄物分科会を設置した。同分科会ではアンケート調査結果を参考に関係会員企業の意見交換会を10月から計3回開催し、3月には(一社)埼玉県環境産業振興協会及び(一社)千葉県産業廃棄物協会、(公社)神奈川県産業廃棄物協会と合同意見交換会を開催し、今後協力しながら排出事業者に適正処理への理解、協力をお願いしていくこととなった。

10月、施設見学会を実施し、あわせて産業廃棄物対策課から講師を招いて建設廃棄物を中心に指摘・指導事項について勉強会を行い、引き続き(一社)東京建設業協会及び(一社)東京建物解体協会と懇談会を行い、合同で再生砕石問題WGを立ち上げることになった。WGでは、再生砕石の用途拡大方策及び公的ストックヤード設置、品質基準策定について議論してきた。今後、東京都への要望を取りまとめ、その実現を働きかけていく。

## (8) 多摩支部

### ① 多摩支部会・研修会

6月に開催した支部会では施設見学会の見学先及び日程等の確認をした。また、支部20周年記念誌作成委員会報告及び法制度検討委員会定期報告を行った。支部内にコミュニケーション委員会と教育研修委員会を創設した。

支部会に引き続き、多摩環境事務所から講師を招き、多摩地区における最近の指導状況と八王子市の中核市移行に伴う権限移譲についての研修会を行っ

た。

## ② 施設見学会

10月に実施した施設見学会は、プラスチックをリサイクルし、パレット等を製造する工場としては全国でも有数規模の千葉県富津市にあるエム・エムプラスチック(株)を訪問した。見学会終了後は宿泊し、会員同士交流を深めることができ、有益な見学会となった。

## ③ 多摩支部幹事会及び適正処理意見交換会

3月には、27年度事業計画案がコミュニケーション委員会、教育研修委員会より発表され、新年度計画が決定した。その後、適正処理意見交換会を開催し、多摩環境事務所と八王子市資源循環部廃棄物対策課の担当の方々と、多摩地域の適正処理と今後の課題等について意見交換を行った。

## (9) 青年部

① 4月、6回目となる「アースデイ東京2014」に参加し、ごみゼロステーションの運営協力と来場者への環境教育を行い、2日間で約100名と大勢の方々に参加していただき、世界的な環境イベントにおいて楽しみながら価値あるCSR活動を実施・継続できた。

② 8月、エコツーリズム研修及び部員の親睦を図るために始めた「東京で遊ぶ・奥多摩BBQ」には、部員家族も含め約50名の参加があり、盛況であった。

③ 11月「業界情報をいち早く！」をコンセプトに短時間研修「NEWS 5」を開始、初回であったが幹事以外で28名の参加と人気企画になった。

④ 11月、(公社)全国産業廃棄物連合会青年部協議会の全国大会が中部ブロック名古屋で開催され、大会コンセプトである「CSR2・進化と継承」において関東ブロックの一員として1年を通しBCP策定に関わる講習会などを8都県合同で実施(4回)し、それを映像にまとめ発表した。

⑤ 2月、研修会に循環経済新聞の編集長を招き、業界の動向や来年の見通しなど、業界の旬な話題を中心に講演いただいた。その後開催した新年賀詞交歓会には51名の参加があった。

## (10) 女性部

### ① 環境教育

8月、小学生を対象とした「ガラケー解体作業体験」を(株)アンカーネットワークサービスの協力を得て開催した。

### ② 施設見学会等

9月、千葉県のエコシステム千葉(株)と杉田建材(株)の2社を訪問した。

また、11月、盛岡市で開催された(公社)全国産業廃棄物連合会等が主催

する「第13回産業廃棄物と環境を考える全国大会」前に『e-Lady 21のつどい』を関東地域協議会女性部会として主催開催し、翌日には東日本大震災の被災地である釜石市内を視察した。

③ 勉強会

7月、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた廃棄物・環境教育についての講演を東京都環境局から講師を招いて行った他、12月には当協会会長を迎えての勉強会等、全5回開催した。

④ 社会貢献

ペットボトルキャップを女性部内で集めた他、協会全体のベルマーク活動を行った。

⑤ 情報発信

ホームページの改訂を行った。

⑥ その他

2月、群馬県での関東地域協議会女性部会の新春研修会に14名が参加した。また、3月、女性部設立10周年記念として、講演会と祝賀会を開催した。